

「日本経済再生に向けた緊急経済対策」進捗管理シート(経済産業省)

対策の柱立て(大区分)	Ⅱ. 成長による富の創出	担当部局	特許庁
対策の柱立て(中区分)	1. 民間投資の喚起による成長力強化		
対策の柱立て(小区分①)	(2) 研究開発、イノベーション推進	担当課	総務部総務課 特許審査第一部調整課
対策の柱立て(小区分②)	③イノベーション基盤の強化		
対策における施策の名称	企業がイノベーションを円滑に事業化できるよう、迅速な特許権取得の促進や事業に関する複数分野の特許出願の一括審査を実施する。		
(事業名)	迅速かつ質の高い特許審査の推進	新規/既存	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 既存
平成24年度補正予算額	予算事業ではないため該当しない	一般会計/特別会計 (特会の場合には名称も記載)	予算事業ではないため該当しない
事業の内容 (予算については、 予算の使途及び 予算を交付等する対象者 を明記)	<p>・特許審査の迅速化に関して、平成25年度中に審査順番待ち期間を11月まで短縮させる。そして、権利化までの期間も含めて、平成26年度以降も引き続き迅速化を進めていく。</p> <p>・特許審査の質の維持・向上のために、権利付与後に無効とならず安定しており、かつ、企業にとって使い勝手の良い特許権を設定するための取組を進める。具体的には、安定した特許権の設定のために、中国文献をはじめ急増する外国文献に対する調査を拡充し、その調査結果に基づいて特許性の適正な判断を行う。</p> <p>・企業にとって使い勝手の良い特許権を設定するために、面接審査の拡充等によって企業とのコミュニケーションを強化して企業戦略における特許等の位置づけを理解しながら審査し、企業戦略に活用しやすい権利範囲を設定する。</p>		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 交付金 <input type="checkbox"/> 貸付金 <input type="checkbox"/> その他()		
アウトプット指標(進捗指標)	<p>(アウトプット指標による目標)</p> <p>・平成25年4月から平成26年3月末までに、特許出願の一次審査を34.1万件(※)以上行う。</p> <p>(※)参考:平成24年の審査請求件数は、24.3万件。</p>		
アウトカム指標(効果指標)	<p>(アウトカム指標による目標)</p> <p>平成25年4月から平成26年3月末までに一次審査を34.1万件以上行うことで、審査順番待ち期間(平均)を、平成25年6月には15月台、平成26年3月には11月まで短縮する。また、平成26年度以降も、迅速化の取組を進める。</p> <p>その結果、以下の効果が得られる。</p> <p>・審査順番待ち期間および権利化までの期間が短縮されることで、企業は早期に特許権を取得し、ライセンス交渉等において積極的に権利行使することができる。</p> <p>・日本において早期に審査されると、海外特許庁において、日本の審査結果が活用される可能性が高まるので、海外において特許権が設定される可能性が高まる。さらに、日本の審査の質が向上することによって、海外特許庁において、日本の審査結果が活用される可能性がより高まる。</p> <p>・そして、海外において日本の審査結果が活用される可能性が高まることにより、日本と同様の権利範囲の特許権が、海外において設定される可能性が高まる。したがって、企業にとって使い勝手の良い特許権が日本で設定されることで、企業にとって使い勝手のよい特許権が海外においても設定される可能性が高まる。</p> <p>以上により、</p> <p>・企業にとって使い勝手のよい特許権が国内外で設定されることにより、特許権の活用が促進され、更なるイノベーションの促進につながる。</p>		
事業の進捗状況 予算の執行状況 (進捗実績、 今後のスケジュール)	<p><進捗実績></p> <p>・一次審査件数について、平成25年4月に特許出願の一次審査を2.8万件行った。</p> <p>・審査順番待ち期間について、平成23年度末には22.2月(平均)であったところ、平成24年度末には16.2月(平均)まで短縮された。また、権利化までの期間は、平成23年度に権利化された特許の平均が33月であったところ、平成24年度は29月以内(平均)に短縮された。</p> <p><今後のスケジュール></p> <p>・平成26年3月末までに審査順番待ち期間11月を達成する見込みである。平成26年度以降は、権利化までの期間を短縮させていく。</p>		
執行早期化のために 講じている工夫			
事業に関するURL (事業実施場所、補助先等)			